日本大震災を受けて

食の軽要と地質対策

SHARROOM

TREES APRE

演の様子

## 開 催

お迎 えるため、 点としての 組み 期 参 えし、 加 成 日 により開 同 5 本大震災を受け、 災 盟会・ 発害に 5 「みなと」 港湾フ 月 催されました。 強いみ 西条市主催) 19 日 オ なとを考える~」 ーラム をどのように整備し 総合文化会館にて、 が約120 『地震・ 物 情 報を運ぶ海と陸との中 津波 0人の市民や防災 (東予港港湾整備 各分野の 7 液状化』 いくべきかを考 ·専門· その |家を 士 促 取

進

年齢層からの関心の高さがうかがわれました。 加 が者には 地 元高校生らも見ら ή Z のテー



▲真剣にこれからの西条の「みなと」に ついて考える参加者の皆さん

など

0)

デー クの

マに

回答を含め、

18

いただ

い

害時 条市の の危険

Ŏ

相

ワ

ため

## 部 れた講演 基調講演

1

策などが、 液状化の まず 川 高等 行わ Ż 立谷福島県相馬市 カニズムやその対 専門学校校長 では、 から、 嘉

震 長 た富田港湾空港技術研究所 在も続く復旧 B か 5 巨 大津 は 相馬市 波 0) 復興の 恐ろ を襲 しさや 様子が 云った地

だきました。 いて、 組 セ 3 シター Ŕ それぞれお話を 特徴、 長 いから その は 対策 津 波 に 0)

大震災 概 相 馬 市 0

▲立谷秀清相馬市長による基調講演「東日本 大震災相馬市の対応」の様子

相馬市の対

本大震

災

相

▲嘉門雅史香川高等専門学校長による基調講

▲富田孝史(独)港湾空港技術研究所副セン ー長による基調講演の様子

## エウォッチング

暑い日が続くフエからお伝えします。いつにも増 町の中の人が多いと思ったら、夏休みがやって来たよ うです。防災教育支援事業を実施している中学校も夏休みが 始まりました。こちらの夏休みは2カ月半と長く、田舎に帰 省したり、海や川へと旅行に出かける家族とさまざまです。

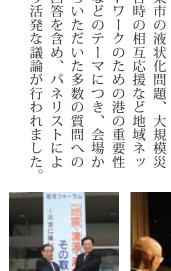
フエの少し郊外へ足を運ぶと田園風景が広がっています。 過去の記事でもお伝えしたように、ベトナムの主食は日本と 同じように「米」です。ベトナムの稲作は、年に2回収穫す る二期作で、ここフエでは、今がちょうど収穫の季節です。 ベトナムの稲作は、いまだに伝統的な手作業によって丁寧に 米を栽培し、収穫されています。そんな田園風景には、水牛 やアヒルも欠かせません。刈り取られた田んぼの中では、夏

休み中の子どもたちが自 由に遊んでいます。

夏のフエ。日中はとて も暑いですが、少し街の 外れに出かけると、どこ か懐かしいような生き生 きとした風景を楽しむこ とができます。



フエ市防災教育支援事業 コーディネーター 中村範子



▲相馬市と西条市の絆は 固く結ばれています



条市

長

日高今治造

船

(株) 伊

西 藤

場

長

を

加

え、

港

0)

重要性、

の必要性

第2部

١९

ネルディスカッ

ショ

調講演の

氏

耐

波の河川遡上 震強化岸壁等整備

(そじ

よう

性、

地下

水位

の高

い

西

液状化問

▲活発に議論されたパネルディスカッション の様子